

(公財)神戸大学六甲台後援会だより

(34)

水島鏡也先生の生誕150周年記念に関連して

来年6月29日には、わが神戸高等商業学校の輝かしい歴史を創られた水島鏡也先生の生誕150周年を迎えることになりま
す。そこで目下、凌霄会ともご相談してそのための記念事業を
どうするのかの検討を始めているところです。この7月16日に
も当会理事長であった新野幸次郎特別顧問が、大阪凌霄クラブ
で「水島校長先生の教育と学校経営」について講演をされまし
た。そのような折から、397号で紹介した旧県立神戸商科
大学の卒業生・大森尚氏から、再び水島先生が揮毫された二つ
の掛軸をご寄贈頂きました。

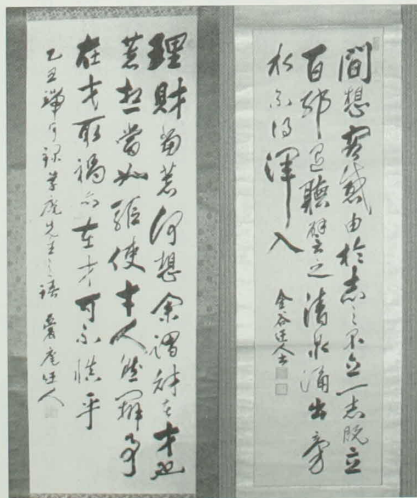
掲載写真の一つは、江戸後期の儒学者で有名な佐藤一斎の「志
を立てる」ことの大切さを力説した言葉で、愛庵会編「水島鏡
也先生伝」(昭和14年刊)の巻末にある「愛庵先生遺墨」の10
ページにも収録されています。

もう一つは、幕末から明治初期にかけて但馬で青谿書院を開
き、浜尾新(東京大学長で、文部大臣も務めた)や、原六郎(第
百銀行を創設し、わが国金融界のリーダーとなった)などをは
じめ、ここではお名前を並記することは、誌面の都合で割愛さ
せて頂きますが、多数の有用な人材を生み育てられた池田草庵
先生の語から選ばれたものでした。ご承知の通り水島先生は達
筆で、私たちでは判じ難い草書体の文字もありました。そこで、
まず事務局では、「池田草庵先生に学ぶ会」代表の米田啓祐氏に

この語の出典をお聞きしましたが判明しません。そこで池田家
から兵庫県明石女子師範学校に明治42年8月に寄贈された「青
谿書院全集第一編」および「第二編」を発達科学部図書館から
借り出して調べましたが、そこにも無く、水島先生がこの文章
をどこから引用されたかは、残念ながら、まだ分かっていませ
ん。しかし、幸いに

して、親しくさせて
頂いている有名な書
家の魚住和晃神戸大
学名誉教授のお蔭で
文書の判読だけはで
きるようになりまし
た。可能ならば、来
年の記念事業の際に
は展示させて頂こう
と思っておりますが、ものづくりや何であれ、事を弁ずるときの
知恵の大切さを力説する内容になっています。

そういえば、当後援会の事務所にもなっているロイ・スミス
館に従来からしまっていた水島先生の書もあります。これは藤
田東湖の「和文天祥正気歌」を揮毫されたものです。おまけに、
この10月26日に開かれる神戸大学のホームカミングデイの日に
は、周知の出光佐三さんのことを「海賊とよばれた男」という
表題で出版された百田尚樹氏が、出光佐三記念六甲台講堂で講
演されます。出光さんは、水島先生の生誕100周年記念事業
のときの委員会代表を務められた人でもあり、ご承知のように
水島先生から頂かれた「士魂商才」という色紙を後生大事にし



て、その経営を全うされた方です。水島先生の揮毫された言葉は実にたくさんありますが、なかでも卒業生一人一人を励ますために揮毫された寸言は、教育者としての水島先生を象徴するものになっています。

今回も皆さんからのご寄附をありがとうございます

毎号ご報告させて頂いています、今回もまた実に多くの方々からご寄附を頂きました。まず、段野治雄様（昭40・経済）10万円、植田顕弘様（平15・経済）1万円、梶田高秀様（昭32・経済）3万円、堀功郎様（昭32・法）5万円、升谷博様（昭31・経営）2万円のほか、イレブン会の皆さん（新制11回生の法・経済・経営学部・昭和38年卒）からご寄附を頂いています。なお、この会の皆さんは、この10月26日のホームカミングデイの日に卒業50周年記念の集いを開くことになっており、本稿締め切り後も、記念の集い当日までご寄附を寄せて頂けると伺っていますので、次号に一括してご報告いたします。

イレブン会を除き今回の皆さんのご寄附で、本年度これまでのご寄附は275万円になり、平成16年度からはじめたお願以降でも、合計2億8723万円余になりました。395号でもご説明申し上げましたように、公益財団法人になりましたから、わが公益財団へのご寄附は、比較的所得が少なく、寄附金額も少ない場合、年度末に確定申告をされますとき、この寄附金を所得控除用に用いられるよりも、税額控除用に用いられると、より有利に利用できると思います。ぜひご検討ください。

最近ある新聞で、米国の大学の寄附による基金づくりが問題になっていることが報ぜられていました。数兆円にも達する米

国の大学基金とは違って、わが国の国公立・私立の大学の基金は極めて少額です。グローバルな大学間競争はその格差の中で行われねばなりません。そこで、日本国内の大学でも基金づくりが競争的に行われている現状です。しかし、多額の俸給を保障し、その先生方の別荘維持の補助金まで出して世界中から優秀な研究者を集めようとしている米国の大学競争には、とても対抗できることではありません。とはいえ、わが国の発展が何よりも優れた人づくり以外にないことを考えますと、私たちはお互い少しでも大学の発展に貢献できるよう努めたいものです。いつも書かせて頂いていますように、寄附金の送り先は次の通りです。よろしくお願い申し上げます。

◎銀行送金の場合（銀行からの通知がどうしても遅くなり、領収書等の送付が遅れる可能性がありますので、ぜひご送金のことを事務局にご一報ください）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078)861-3013

E-mail: rokodainund@kobe-u.com